

# 五つの社会課題解決に貢献する2022年度の取り組み



## イノベーション

### 研究開発機能強化に向け、総合研究所をリニューアル

東洋紡が蓄積してきた四つのコア技術（高分子、バイオ・メディカル、環境・分析・シミュレーション）を活用・融合しながら、社会課題解決に貢献するイノベーションの創出を加速するため、研究開発の中心拠点である総合研究所（滋賀県大津市）の大規模なリニューアルを進め、研究開発機能の強化を図ります。第1期工事として2023年1月、高機能フィルムを中心とした新たな製品・技術の実用化に向け、試作品の開発や実験などを行う「パイロットプラント棟」が完成しました。



総合研究所を大規模リニューアル



## イノベーション

### 神戸大学と包括連携協定を締結。共同研究の成果を社会に実装

2022年4月11日、国立大学法人神戸大学と東洋紡は、研究・技術の発展と社会への貢献を目的として「包括的な産学連携推進に関する協定」を締結しました。両者はこれまでも人材交流や正浸透膜（FO膜）を活用した省エネルギー型海水淡水化技術開発などの共同研究を実施してきましたが、さらに連携を強化することで合意したものです。今後は、カーボンニュートラルに寄与する膜技術などの環境分野やQOL（生活の質）向上につながるライフサイエンス分野を中心に共同研究を進めて研究成果の社会実装を加速し、人材交流の活性化や人材育成に寄与する施策も検討します。

神戸大学と東洋紡が包括連携協定を締結

大阪公立大学と東洋紡が包括連携協定を締結



### 従業員のウェルビーイング&サプライチェーンの人権「健康経営優良法人2023 ホワイト500」初認定

経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人認定制度」において、2023年3月、東洋紡は「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）ホワイト500」に初めて認定されました。

健康経営優良法人  
2023 ホワイト500  
初認定



## 健康な生活&ヘルスケア

### PCR検査試薬や遺伝子診断薬用原料の開発・生産体制を強化

敦賀バイオ工場（福井県敦賀市）に約65億円を投資し、遺伝子検査に用いられるPCR検査試薬および酵素や抗体などの遺伝子診断薬用原料を製造する設備を新設します。2023年3月着工、2024年11月稼働開始予定です。

敦賀バイオ工場に投資、製造設備を新設



### スマートコミュニティ&快適な空間 西九州新幹線「かもめ」に「ブレスエアー®」が採用

2022年9月23日より九州旅客鉄道（株）が運行開始した西九州新幹線「かもめ」の自由席車両全シートの座面に、東洋紡の軽量・高反発で耐久性や通気性に優れている三次元網状繊維構造体「ブレスエアー®」が採用されました。

西九州新幹線「かもめ」に「ブレスエアー®」が採用



### 脱炭素社会&循環型社会 フィルムの生産設備新設、 量産開始

犬山工場（愛知県犬山市）において、食品包装・産業資材用途の各種二軸延伸ポリプロピレン（OPP）フィルムを生産する設備を新設し、2023年2月より一部銘柄の量産を開始しました。この設備には、長年のフィルム事業で培ったノウハウを反映した最新鋭の製膜機を導入し、環境に配慮したフィルム製品の供給体制を強化しています。今後、各銘柄の生産を順次本格化していきます。

犬山工場にOPPフィルム生産設備新設、量産開始

### 「脱炭素社会&循環型社会」そのほかの事例

温室効果ガス排出量削減目標がSBT認定を取得

サステナビリティ・リンク・ボンドの発行



## 良質な水域・大気・土壌&生物多様性

### 「びわ湖100地点調査」に協賛 生物多様性保全への取り組みを加速

滋賀県にある東洋紡の研究開発拠点、総合研究所では、琵琶湖の生物多様性保全活動を行っていましたが、2022年度より龍谷大学生物多様性科学研究センターが実施した「びわ湖100地点調査」への協賛を通じて、さらに取り組みを加速させています。具体的には、有志団体や地元企業が行う年に1度のサンプリング作業に参加するとともに、当社敷地内における琵琶湖水の定期的なサンプリングを独自で実施し、経時的なデータ取得に協力していきます。

琵琶湖の生物多様性保全への取り組みを加速